

福祉 150号

ふくゆうじん

発行：(福)福井県社会福祉協議会

知って情報

**晩婚化、晩産化も要因に
多重ケアの問題が深刻化**

近年、晩婚化や晩産化が進み、子供が小さいうちに親の介護が始まるケースが増えています。子育てと介護の同時進行を指す「ダブルケア」を行っている人は30代・40代を中心に推定25万人。さらに育児・介護に加え、継続治療や看護、就労や就労等、個人・世帯が抱える個別のケアが幾重にも重なった

**「多重ケア」に陥る人も多く、
社会問題として注目されている**

特に福井県では女性の就労率が高く、3世代同居や近居も多いことから、子育てや家事を祖父母が手伝いながら女性が働き続けるのが一般的。そうした中で、もし祖父母が倒れて介護が必要になった場合、今まで任せていた家事や子育てに加え、介護や看護、施設や病院との連絡など、想像以上の負担が一気に押し寄せてき

**「一人では抱えられないこと」
多重ケアへの対処は決して**

多重ケアでは一つひとつの問題に対応するために様々な相談機関に頼らなくてはならず、仕事を休むことになることで収入減や個人評価減、さらには休職・離職へつながり、結果的に家族全体が貧困状態に陥ってしまう危険性があります。また、問題を一人で抱え込んでしまいうケースも多く、2年前に県内で起きた多重介護殺人事件のように、心身ともに追い詰められて最悪の結末を迎えてしまう事例もあります。

**「一人では抱えられないこと」
多重ケアへの対処は決して**

多重ケアに陥った場合、最も大切なことは「一人でやろうと思わないこと」。医療・福祉サービスなどの外部資源を積極的に使い、最寄りの相談機関へ困っていることを伝えることが何より重要です。また、生活を維持し外部資源を十分利用するため、収入を途絶えさせないよう仕事を継続することも大切です。

**実際に多重ケアを経験された
福井県在住の50代女性にお話を伺いました。**

我が家の多重ケアは4年前、父が突然倒れて頭を強く打ち、要介護4の状態になったことから始まりました。介護なしには日常生活が送れない重度の症状でしたが、母がどうしても自宅で看たいということで、在宅での介護を決定しました。

得意分野を活かし、生きがい・健康づくりのため活動

「友」サークル(坂井市・福井市) ボランティア関係の講座で知り合った60代・70代の男女5名で2020年1月にグループを結成。手作りおもちゃやゲーム、脳トレ、人形劇、血回し、フレイル予防体操、カラオケ、広報活動など、それぞれの得意分野を活かして一緒に活動しています。高齢者の方々はもちろん、自分たちの生きがい・健康づくりも目指しながら、依頼に応じてコミュニティセンターや集会所で高齢者が頭や身体を使える活動を実施。今後は介護施設をはじめ、活動エリア・内容ともさらに幅を広げていきたいと考えています。

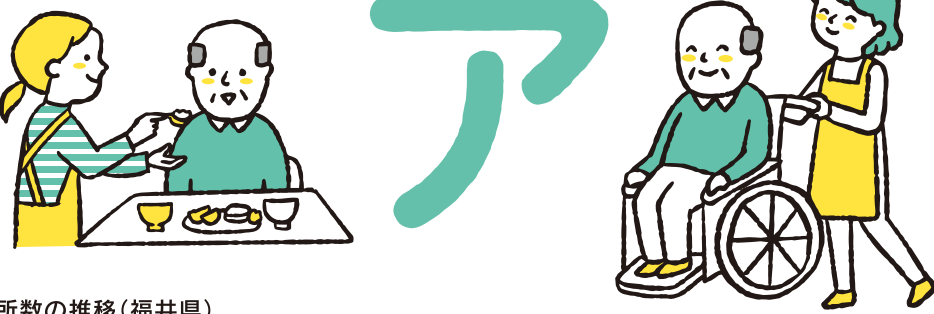
身近に起きている 多重ケア

について考えよう

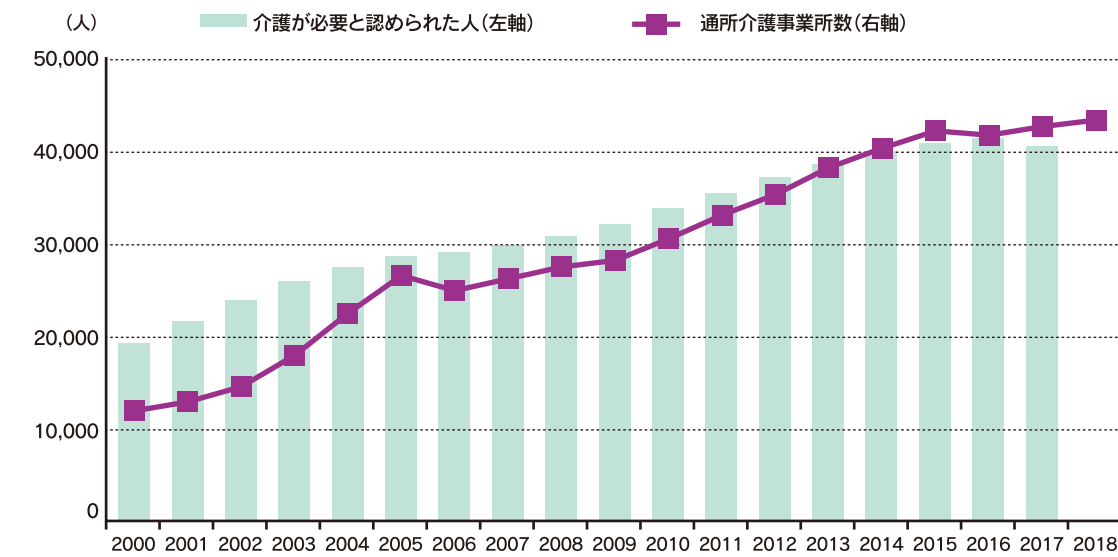


福井県立大学
看護福祉学部看護学科 准教授
成田 光江氏

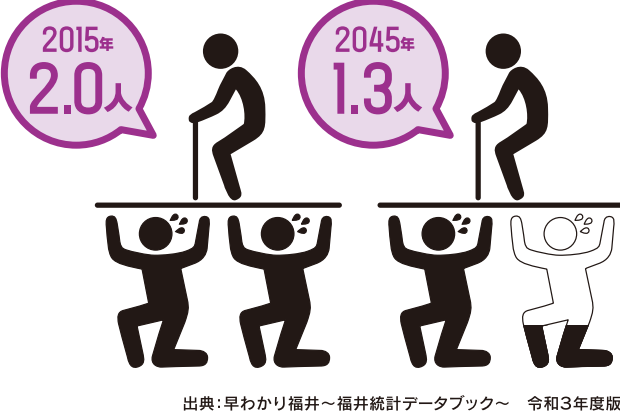
少子高齢化が進む日本では、晩婚・晩産化、核家族化を背景に、育児期にある方(家族)が親等の家族の介護と同時に担う、「ダブルケア」が指摘されています。そして「ダブルケア」に加え、在宅看護や子どもの教育、仕事との両立等の課題に次々に対処しなければならぬ「多重ケア」の状況も起きています。「多重ケア」とは、どのような問題で、実際にその立場になったときどうしたらよいか、介護の日を機会に考えてみましょう。



◎要介護者および通所介護事業所数の推移(福井県)



高齢者一人を、何人の 現役世代で支える?



介護に加え、身体・精神疾患や障がい、暴力、不登校・引きこもり、貧困など、様々な課題が多重ケアの原因に。介護施設などの外部資源を上手に使うことで、少しでも家族の負担を減らすことが重要

介護は誰が、誰が当事者になってもおかしくない問題です。起こりうるケースを想定して、相談先や対応を考えておくのも良いのではないのでしょうか。

11月11日は 介護の日

11月11日は介護の日。「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、介護についての理解と知識を深め、介護従事者、利用者、家族を支えるとともに、その方々を取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進する観点から、介護に関し、国民への啓発を重点的に実施するための日として2008年(平成20年)に定められました。

活動レポート

地域の貴重な交流の場「認知症カフェ」を開催

ほほえみグループ(永平寺町) 2018年10月の結成以来、永平寺町の地域交流館(旧東古市駅舎)で2週間に1回「認知症カフェ」を開催しています。カフェではお茶やお菓子を楽しみながら、メンバーが講師を務める勉強会や、体操、脳トレ、折り紙など様々な活動を行っています。現在の活動メンバーは薬剤師や看護師、ケアマネジャーなど60代・70代の男女7名。今後はより様々な職種の方を迎えて活動を充実させつつ、認知症サポーター養成講座を開催して高齢者の共助を目指し、最期まで地域で幸せに暮らせるようにしていきたいです。



得意分野を活かし、生きがい・健康づくりのため活動

「友」サークル(坂井市・福井市) ボランティア関係の講座で知り合った60代・70代の男女5名で2020年1月にグループを結成。手作りおもちゃやゲーム、脳トレ、人形劇、血回し、フレイル予防体操、カラオケ、広報活動など、それぞれの得意分野を活かして一緒に活動しています。高齢者の方々はもちろん、自分たちの生きがい・健康づくりも目指しながら、依頼に応じてコミュニティセンターや集会所で高齢者が頭や身体を使える活動を実施。今後は介護施設をはじめ、活動エリア・内容ともさらに幅を広げていきたいと考えています。



きてみて! TRY!

11月~12月

みて 第10回ふくいチャリティー・アート展 入場無料

~未来を支える子どもたちのために~

本県にゆかりのある名士・作家の方から寄贈された書・絵画・版画・陶芸品などを展示し、入札にて頒布します。本作品による収益は、子どもの健全育成自立支援に向けた事業「子ども未来支援事業」の財源として活用させていただきます。

【日時】12月18日(土)~20日(月)9:30~17:00(最終日は15:30まで)
【会場】福井市にぎわい交流施設「ハビリンホール」(福井市中央1丁目2-1)
【お問合せ先】 総務企画課「ふくいチャリティー・アート展」係 Tel.0776-24-2339

TRY シニアボランティア養成講座 受講生募集

コミュニケーションスキルを学んで、ボランティア活動に参加してみませんか?

【開催日】11月22日(月) 13:30~14:20 ボランティア活動の心得
14:30~16:00 傾聴スキルを磨いて「聴き上手」「話し上手」な自分!
11月29日(月) 13:30~15:30 「アソビ・マネジメント」を学んで「怒り」の感情と上手に付き合おう!

【会場】福井県社会福祉センター(福井市光陽2-3-22)
【対象】県内在住のシニアの方で講座終了後、ボランティア活動に意欲のある方
【定員】20名(先着順)
【申込方法】 本会ホームページ(https://www.f-shakyo.or.jp)から申込書をダウンロード、必要事項を記入し、FAX・郵送・メール等にてお申込みください。(電話でも可)
【申込期限】11月15日(月)
【お問合せ・申込先】 福井県すこやか長寿センター Tel.0776-24-2433 Fax.0776-24-0041 メール sukoyaka@f-shakyo.or.jp

TRY ちょこっと就労 シニア・主婦の方大歓迎!

~介護施設でちょこっと働いてみませんか?~ 年齢・性別不問!

【資格・経験不要】 仕事の内容は、介護施設での食事の配膳・下膳、衣類の洗濯や部屋の掃除、シーツの交換など、補助的なお手伝いが中心なので、特別な資格や経験は一切不要です。

【短時間就労】 勤務時間は、1回2~4時間、週2~4回程度と短いため、空いている時間を活用しやすく、一人ひとりのライフスタイルに合わせた働き方ができます。
※参考 時給858円~1,000円程度

◎「ちょこっと就労」に興味を持たれた方は、就職面談会にお越しください! 参加無料・入退場自由

地区	開催日	会場
福井	11月24日(水)	福井県社会福祉センター 4階 第1・2研修室(福井市光陽2-3-22)
坂井	11月18日(木)	ゆりの里公園ユニーパーク1階 大会議室(坂井市春江町石塚21-2-3)
丹南	11月15日(月)	サントーム福井 2階 201・202会議室(越前市瓜生町5-1-1)
奥越	11月17日(水)	勝山市市民交流センター 3階 第1・2会議室(勝山市片瀬町1-402)
嶺南	11月30日(火)	敦賀福祉総合センターあいのプラザ 2階 つどいの部屋1・2(敦賀市東洋町4-1)

時間は全て13:30~15:00(受付13:00~)

※3密(密閉・密集・密接)防止、マスク着用、手指消毒、換気、アルコール消毒などの感染防止対策を行います。
※「ちょこっと就労」は雇用契約を締結するパートタイム労働であり、ボランティア活動とは異なりますのでご注意ください。
【お問合せ先】 福井県福祉人材センター Tel.0776-21-2294・28-3180 メール jinzai-center@f-shakyo.or.jp

きて ラジオで学ぼう! いきいきセミナー 受講生募集

FBCラジオ (福井AM864kHz/FM94.6MHz、嶺南AM1557kHz/FM93.6MHz) 毎週日曜日 6:30~7:00放送 毎週土曜日 17:15~17:45再放送
本会ホームページからもご覧いただけます。
ラジオのほか、パソコン・スマホ(radiko)から聴くことができます。
受講生(有料)になると、講座内容が良くわかるテキストが毎月届く他、公開講座に無料で参加できます。 ラジオ放送講座

【お問合せ先】 福井県すこやか長寿センター Tel.0776-24-2433

日程	テーマ	講師
11月	14 中年期から始める健康管理 ~健康寿命を延ばすために~	公益財団法人 福井県健康管理協会 保健師 上田 加奈子氏
	21 なんとなく元気が出ない? 必要な栄養を上手にとろう	ふくいの食育リーダー 野路 直美氏
	28 介護が始まる前に知って! 介護と仕事の両立のために	ほやねつと北(福井北包括支援センター) センター長 浅井 智恵美氏
12月	5 脳卒中と闘う ~治療の最新情報から~	福井赤十字病院 脳神経センター長 西村 真樹氏
	12 若狭の海を蘇らせよう	環境団体アソビアーナ 代表 西野 ひかる氏
	19 童話でつながる人と人の出会い	ふくい児童文学学会 会員 橋谷 桂子氏
	26 福井方言の歴史と今	金沢大学 名誉教授 加藤 和夫氏

つなぐ福幸メッセージ2021 ~「コロナ禍を生きる、支える」みんなのエール~作品展示について

本会では、「コロナ禍を生きる、支える」みんなのエールをテーマに、福祉現場や活動で「コロナ禍の心の支えになった出来事」等のエピソードを募集し、総数56点の応募がありました。この応募のあった全エピソードの移動型展示会を、11月1日(月)から県内各所でを行います。また、同時にホームページでも作品集を公開します。さらに、今回のメッセージに、作家の宮下奈都氏をはじめとする講師委員の皆様がコメントも公開します。ぜひ展示会場やホームページ上でエピソードを閲覧いただき、その感想や福祉現場に対する思いやメッセージ等のコメントをお寄せください。

【日程】11/1(月)~12(金) 県社会福祉センター 1階東側ロビー(福井市)
11/13(土)~19(金) 県立若狭図書館学習センター エントランスホール(小浜市)
11/20(土)~21(日) 武生薬学 1階センターコート(越前市)
11/22(月)~26(金) 敦賀駅交流施設オムニパーク 2階休憩所(敦賀市)
11/27(土)~28(日) ショッピングシティベル 1階北コート(福井市)
12/1(水)~10(金) 県社会福祉センター 1階東側ロビー(福井市)
12/11(土)~12(日) ラブリーパートナーエルバ 1階エルスペース(福井市)
12/18(土)~20(日) ハビリン 3階ハビリンホール(福井市)

【お問合せ先】 総務企画課 総務企画グループ Tel.0776-24-2339 つなぐ福幸メッセージ 二次元コード

次号は2022年1月12日(水)に発行予定

お問合せ：(福)福井県社会福祉協議会 地域福祉課 〒910-8516 福井市光陽2丁目3-22(福井県社会福祉センター内) Tel.0776-24-2433 Fax.0776-24-0041 メール sukoyaka@f-shakyo.or.jp ホームページ https://www.f-shakyo.or.jp/

